

青山地区
市政懇談会資料
(書面回答)

地区からの意見・提言(書面回答)

青山地区

	意見・提言の内容	担当課
1	青山地区周辺の里山に生息するイノシシ、ハクビシンなどの駆除のお願い	農業振興課 環境政策課
2	防犯カメラ設置について	生活安全課
3	道路整備について	道路河川課
4	小中学校クラス定員削減について「兵庫県統計書」の閲覧について	学校教育課
5	児童生徒の熱中症対策について	学校教育課

市政懇談会 書面回答

地区名	青山地区	
意見・提言等	1	青山地区周辺の里山に生息するイノシシ、ハクビシンなどの駆除のお願い (青山1丁目)
(内容)		
青山地区およびその周辺は三木市所有の緑地や、周辺にある里山により、自然を感じられる環境が整えられている。しかし緑地においては最近、ナラ枯れや松の立ち枯れが目立つようになってきている。また、イノシシやハクビシンなどの生息が数多く報告されている。三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘でのイノシシの出現、緑地で絶えずイノシシが掘り返した跡がみられる点、関西国際大学横の幹線道路で夜イノシシが車に追突した事例など、枚挙にいとまがない。また、ハクビシンが学校周辺に現れたとの話も聞く。共に夜行性ではあるが、早朝や夜遅く青山内や周辺を散歩される住民も数多い。子供たちが登下校したり、里山周辺を遊び場にしていることも、常である。安全面、衛生面から、住民の間には不安が大きい。 万が一のことを考えると、大いに危惧している。神戸市との境があり、また兵庫県所有の土地など複雑な面もあると思うが、住民の安全を確保し、不安を除去するために、駆除についての方策をお願いしたい。		
回 答	(担当課) 産業振興部 農業振興課 市民生活部 環境政策課	
令和5年度からアライグマ・ハクビシン用捕獲檻を増やして、農業集落以外の新興住宅街の皆様への貸出も行っているところです。 イノシシの駆除については、昨年度から防災公園やはばたきの丘への出役を受けて、猟友会と連携しくくり罠や箱罠を近接の森林内の獣道付近に設置するなど対策を行っているところです。 野生動物の出役は、生息区域内における近年のえさ不足により住宅街へ出役していることから、地域住民の皆様におきましても、えさとなりうる廃棄物をゴミステーションや私有地内での適正な管理を含めた野生動物の目に留まらない対策を行っていただきま		

すようお願いします。

今後も、地域の皆様とも連携し駆除も含めた侵入防止対策を進めてまいります。

市政懇談会 書面回答

地区名	青山地区	
意見・提言等	2	防犯カメラ設置について（青山3丁目）
(内容)		
生活安全委員会での1コマで、青山地区での空き巣等の事件は過去3件で、未だ検挙できていないということで、足取り捜査などでは防犯カメラは重要であるという内容でした。 主要幹線道路上での設置などを主に官費での設置を充実させるべきではないか。 市民の安全で安心な環境の保全という視点から、三木市政の義務であると考えます。		
回 答	(担当課) 市民生活部 生活安全課	
青山地区におかれましては、生活安全推進委員会の定期的な実施、巡回パトロールなど、自主防犯に積極的に取り組んでいただき、誠にありがとうございます。 防犯カメラなどによる物理的な対策に加え、住民のつながり、声をかけあえる関係を続けていくことが、安全・安心のまちづくりに重要な役割を果たすものと考えており、日々の活動に深く感謝申し上げます。 さて、三木市では、「不特定多数の人が利用し、器物破損や窃盗など一般刑法犯の発生が多い駅周辺やバス停留所及び不法投棄等の発生場所や市境の幹線道路」については、市による防犯カメラを設置する事業を令和6年度に開始しており、令和8年度までに合計60台を設置する予定にしております。この中で青山地区においては、今年度、イオン青山店近くの「センター前停留所」付近に防犯カメラを2台設置する予定となっております。 つきましては、今後も市による防犯カメラの最適な設置場所を検討するなどしながら、引き続き、安全で安心なまちづくりに努めてまいります。		

市政懇談会 書面回答

地区名	青山地区	
意見・提言等	3	道路整備について（青山5丁目）
(内容)		
① 5丁目の「コスモス」「西松屋」の道路を挟んだ向かいの斜面は三木市の土地と聞いている。木が大きくなり、うっそうとしている。雑草も多くガードレールからはみ出している。散歩される方も多く車を運転しているととても危険に感じる。年に1回は整備してもらいたい。 ② 5丁目交差点の標識が消えかかって見えにくい所もある、路面標示（停止線、中央線、とまれ等）も薄くなり、夜だと全然わからないところもあり、危険だと感じておる。書き直して頂きたい。		
回 答	(担当課) 都市整備部 道路河川課	
① 道路管理における草刈等の実施については、道路交通に影響の大きい箇所から実施しており、当該箇所については、面積も大きく現在のところ未実施の箇所となります。 現地確認いたしましたところ雑草、雑木の繁茂が見受けられますので、まずは道路に影響のある部分から対応して参りますのでご理解のほどよろしくお願いします。 ② 近年、道路区画線については、薄くなっているところが多くなっていることは認識しているところで、現在、塗り直し等の修繕については、実効性・即効性が高いところを優先的に計画的に実施しているところです。 また、市では今年度から3年間にわたり、交通安全対策3か年重点プロジェクトとして、交通安全の対策を強化・実施しているところで、塗り直し等の修繕については、パトロールを実施しながら対策しておりますが、広範囲にわたるため塗り直しが追い付いていない箇所等もあるかと思いますので、お気づきの箇所等についてご連絡いただけましたら現地確認をおこない調整していきますのでよろしくお願いします。 なお、停止線、とまれ等については警察（公安委員会）の所管となりますが、市の塗り直しに併せて警察（公安委員会）と調整して参ります。		

市政懇談会 書面回答

地区名	青山地区	
意見・提言等	4	小中学校クラス定員削減について (青山4丁目)
(内容)		
少子化が進む昨今ですが、その希少価値になりつつ子供たちに手厚い教育を施すためにも1クラスの定員数を20人を上限としクラスの生徒全員をしっかりと見れるような環境づくりが必要ではないかと考えます。 物理的には問題ないと思います。あとは担任の増えること等費用の問題ですね。 これから先三木、日本を背負って立つ子供たちを今まで以上に丁寧な育てて行くためにも必要なことではないでしょうか？ 子供たちへの丁寧な接し方・育て方が育ててもらったところに帰ってくる一つの要因になるのではないのでしょうか？ 小中一貫校等いろいろと考えることが多いと思いますが、ご検討のほどよろしくお願いします。		
回 答	(担当課) 教育振興部 学校教育課	
少子化が進む中で、子どもたちの教育環境をどう整えていくかについては、教育委員会にとって重要な課題です。 少人数指導については、これまでから兵庫県教育委員会の加配措置(必要に応じて先生を増員できる仕組み)を活用し、特定の教科指導で行ってきました。1学級を2つに分けて、教科指導を行うことで、教員の目が子どもに行き届きやすくなり、個々の学力や特性に合わせたきめ細かな指導が可能になるなど、その効果を認識しています。 1学級の児童生徒数を何人にするかは、国の「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律(義務標準法)」で定められています。 子どもたちの発達段階に応じた丁寧な指導を行うことを目的として、小学校では2021年(令和3年)度から2025年(令和7年)度にかけて、段階的に1クラス「35人学級」が導入されました。中学校に関しても、2026年(令和8年)度から順次35人学級の導入が予定されているところです。		

今後も、各校の実態に合わせて、兵庫県教育委員会の加配措置（必要に応じて先生を増員できる仕組み）を活用しながら、一人一人の個性や発達段階に応じた丁寧な指導を通して、自分らしく生きていくために必要な資質や能力の育成に取り組んでまいります。

市政懇談会 書面回答

地区名	青山地区	
意見・提言等	5	児童生徒の熱中症対策について (青山5丁目)
(内容)		
・ここ毎年、気候変動に伴い、早い時期(6月)から30度を超える気温が続くようになりました。小学生を通わせている保護者から、各家庭で、ネックカラーを、保冷バックに入れて持たすことになっており、そのようにしているが、下校時までは保冷効果は持続せず、冷たいどころか、熱くなった状態で帰ってくることも多々あるとのこと。各学校に、各家庭から持ってきたネックカラーなどを冷やす冷凍庫を設置してもらうことはできないでしょうか。		
回 答	(担当課) 教育振興部 学校教育課	
近年の猛暑は大きな課題であり、子どもたちが安全に学校生活を送ることができるように、市教育委員会としても学校と連携しながら様々な取組を進めているところです。		
ご提案いただきました各学校への冷凍庫設置についてですが、学校が一人一人のネッククーラーを冷凍庫で一括して管理する場合、衛生面や紛失防止などの問題に加え、冷凍庫の設置場所や台数、公平な利用の確保等、運用面で様々な課題が考えられます。したがって、各学校の判断等にもよりますが、現時点では設置は難しい状況です。		
なお、ネッククーラー等の使用は必須ではありませんので、電動タイプの物や PCM タイプ(約28℃以下の室温や水などによって、自然に凍結する)の物など、各ご家庭の判断で使用をされております。		
また、学校では熱中症対策として、帽子や日傘の着用をはじめ、スポーツドリンクの持参も推奨しているところです。		
今後も、暑さ指数(WBGT)をもとに活動内容を調整したり、日陰での休憩やこまめな水分補給を徹底したりするなど、学校としてできる限りの熱中症対策を続けてまいります。ご家庭での工夫と合わせて、冷凍庫の設置も今後の熱中症対策全般の検討の中で課題として捉えてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。		